

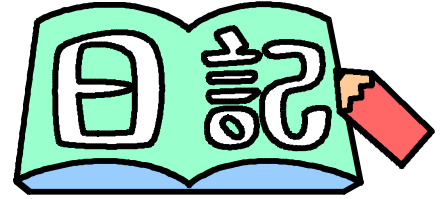
切 磋 琢 磨

第30号 2010.2.26

春日井市立坂下中学校

<第30号の内容>

- 1 奉仕作業がありました(2/22)
- 2 3年間の思い出(その3)
- 3 お別れ交流がありました(2/24)
- 4 卒業式までの過ごし方



1 奉仕作業がありました(2/22)



2月22日(月)の午後、学年奉仕作業が行われました。3年の各クラスと音楽教室等の特別教室の掃除を特に念入りに行い、ワックスがけを行いました。4月からは、後輩が使います。このあとも、ていねいに使いたいものです。

思い出の詰まった教室や特別教室。ならばこそ、各自の机やロッカーに目やってみてください。消しゴムや雑巾で消し落とせる落書きや汚れは、積極的に落としましょう。最後まで残って、ワックスがけを行った人、ご苦労様でした。残り少ない中学校生活での清掃時間も、ちょっと意識して取り組んでみてはどうでしょう。

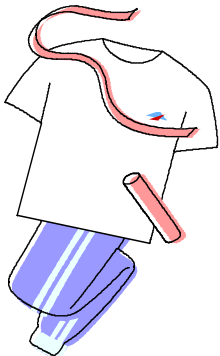
2 3年間の思い出(その3)



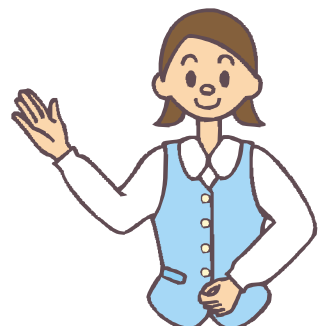
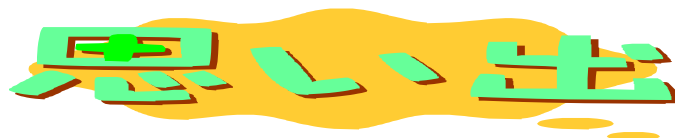
(1) Y君の思い出

この坂下中学校に3年間通い、楽しいことや悲しいこと、色々なことがありました。そして色々なことを学びました。友達の大切さ・勉強の大切さ。色々なことがあり、とても楽しく幸せな3年間でした。通学路が遠くて1年の頃は学校が嫌いだったけれど、大きくなるにつれて心も成長し、学校へ行くのが楽しみになりました。インパクトの強い先生ばかりで、とてもよかったです。今までありがとうございました。今までの一番の思い出では選べません。この坂下中学校で生活したことが一番も思い出かもしれません。坂下中学校の生徒になれて本当によかったです。高校に行くとみんなとは別れてバラバラになってしまうけど、みんなとつくった思い出は一生忘れないと思います。

(2) Z君の思い出



僕の中学3年を振り返って、思い出として一番残っているのは、1年生から始まった部活動です。中学に入学するまでは部活動をしていなかったし、授業が終わった後に部活動をするのは、最初のころは慣れずに大変でした。けれど友達と行う部活動は楽しく、一日一日が過ぎていくうちに、授業後の部活動にも慣れていき、少しずつだけど技術も入部した頃より上がっていききました。夏の最後の試合には出ることはできなかったけれど、いい思い出ができたと思っています。



3 お別れ交流がありました(2/24)



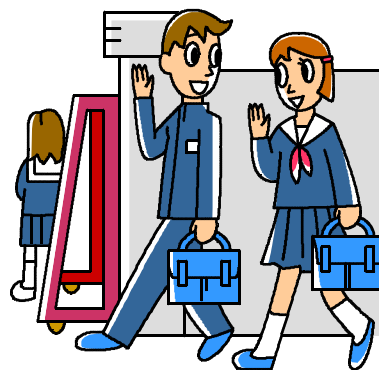
2月24日(水)の午後、春日台養護学校へ行ってきました。1年から続けてきた、“交流学习”の締めくくりです。春日台養護学校のみなさんも、あと少しで中等部を卒業です。あいさつ・整列の様子等から3年間の成長がよくわかりました。卒業後もどこかで会うかもわかりません。そのような時、自然と声をかけ合えると良いですね。交流の意義はそんなところにあるのではないのでしょうか。体育館で、あたたかい歓迎を受け、グループに分かれて、ゲーム・歌の交流を行いました。お互い、良い思い出づくりになったと思います。

坂中生の出し物は「旅立ちの日に」の合唱です。聴き応えのある合唱でした。卒業式当日も、立派に歌い上げてくれることを期待します。お互いにプレゼント交換をして、帰りました。

4 卒業式までの過ごし方

下のカレンダーのように卒業式までの登校日は6日です。

日	月	火	水	木	金	土
2/21	22	23	24	25	26	27
28	3/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13



1 校訓“すべてに最善を”を意識した生活を送る

3年間坂中で学んだみなさんは、最後にもう一度校訓を意識した生活に取り組んではどうでしょう。

坂下中学校の60年を超える歴史の中で、連綿と受け継がれてきた校訓。あなた達の後輩も受け継ぐ校訓。

卒業を間近に控えたみなさんにこの校訓を意識した生活をしてもらえたらと思います。

「すべてに最善を」という言葉を、自分自身に問いかけながら卒業までの日々を送ってみてはどうでしょう。

もちろん、卒業後も大切にしていきたい校訓です。

校訓のバトンタッチが、良き伝統を築き上げていくのです。

言葉に言い表さなくてもみなさんが校訓を意識して生活をしている姿を後輩は感じ取り、受け継ぐことでしょう。

これから約1週間、すべてに最善をつくしましょう！

2 まさに“切磋琢磨”の時

1年生からこの学年通信のタイトルは『切磋琢磨』でした。以前にも解説しましたが、切磋琢磨とは「石などを切り磨くように、道徳・学問に勉め励んでやまないこと。また、仲間どうし互いに励まし合って学徳を磨くこと」です。まさに、卒業式を控えたこの時期こそ、“切磋琢磨”の時なのです。残された数少ない授業時間を大切に、



お互い励まし合って、最後までやり抜いてほしいと思います。

もう進路が決まっている人もいます。まだの人・不安を抱えている人もいます。今こそ、共に励まし合うことが大切なんです。もう声に出さなくても、通じ合えます。

切磋琢磨の1週間を期待します。

